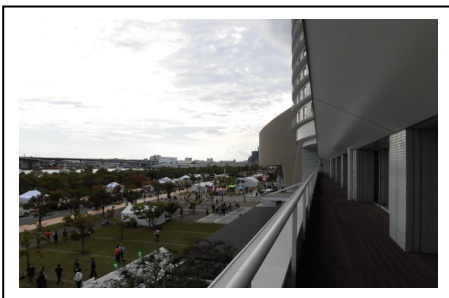


# 兵解協だより

## 第7回防災推進国民大会2022が兵庫県神戸市で開催されました。

令和4年10月22日～23日に国内最大級の防災イベント「防災推進国民大会2022」が神戸市の「人と防災未来センター」を中心として開催されました。これは、「未来につなぐ災害の経験と教訓～忘れない・活かす・備える～」をテーマとして、災害の経験や教訓の伝承の重要性を認識し、①地域における防災力の向上②国民の防災意識の向上③災害に関する知識や経験等の共有④防災に取り組む人々の連携構築を図る目的で開催されたものです。開会式では、谷公一防災担当相が挨拶で「災害を学び、日ごろの備えの大切さを考える「防災国体」にたくさんの方々に参加いただきありがとうございます。防災を通じた新たなつながりが生まれることを期待いたしております。」と述べられました。そして開会の式典では、震災後設置されました県立舞子高校の「環境防災科」の生徒が活動を紹介。2002年4月に出来た全国初の「防災専門学科」、被災地を周り、ボランティアに励んでいる事などを報告しました。全国から約320団体が出展いたしました。屋内展示では①一般コミュニティゾーン②企業・行政・専門ゾーン③教育・若者・ファミリーゾーンに区分され、防災に関する屋内展示、プレゼンテーション・ワークショップ・セミナー等が活発に展開されておりました。また屋外展示では、①日本気象協会がAR（拡張現実）を使った豪雨・暴風疑似体験学習を開催。「1時間80ミリを超える猛烈な雨」や「最大瞬間風速の非常に強い風」を体験できるコーナーがありました。またNTT西日本では、災害時電話がつながりにくいことがあり、災害用伝言ダイヤル「171」を活用できるコーナーを設けその使い方を説明しておりました。その他「地震」の揺れを体験できるコーナーをはじめ様々な出展がありました。2日間とも晴天に恵まれ、家族連れや学生ら若い世代が多く来場し大会は非常に好評のうちに閉幕いたしました。



防災推進国民大会の会場の全景



ドローンによる避難指示の呼びかけ



屋外展示場の風景



屋外展示場の風景



セミナーの風景



阪神・淡路大震災資料・映像の展示

# 兵解協だより

## 姫路市総合防災訓練・国民保護訓練に参加致しました。

令和4年10月29日(土)AM10時から、「エコパーク網干南側敷地」において、総合防災訓練・国民保護訓練」が3年ぶりに開催されました。これは、発生する確率が高い「南海トラフ地震」に対し、被害を最小限に抑える事を目的として、①自主防災会を中心とした、避難所運営訓練により、地域防災力の充実強化を図る。②防災関係機関等実践的な訓練により初動対応力の向上を目指す。③負傷者搬送を含めた災害医療を想定した訓練により医療機関と他の期間の連携を強化する。を主眼に「訓練」が実施されました。また、国民保護法に基づく国民保護措置の円滑な推進と意識の高揚を図るため「国民保護訓練」が併せて実施されました。訓練には、国・県・市防災関係機関・医療機関・競艇関係者をはじめ、地区連合自主防災など60機関、約1,000人、ヘリコプター1機、車両約60台、船舶7隻が参加いたしました。訓練は「緊急地震速報」アラート鳴動後、震度6強の地震が発生した想定の前開始されました。まず、災害対策本部運営訓練、続いて被害状況調査(ドローン使用)津波警報伝達訓練、住民避難・避難所開設訓練、さらには、初期消火訓練、応急救護書開設、などが実施されました。そしてAEDを活用した応急処置、負傷者搬送訓練、非常食炊出し訓練、要援護者搬送訓練、車両救出救助訓練、仕分け訓練、水道。ガス。通信復旧訓練などに引続き道路啓開訓練等が実施されました。また、ドクターヘリ重傷者搬送訓練も実施されました。この後、海上自衛隊による「海上救出訓練」並びに、消防車による一斉放水訓練が実施され、12:00頃に訓練は終了いたしました。その他、防災に関する展示体験コーナーなども設置され、参加者・見学者の「防止意識の高揚」を図りました。



本部長(清元市長)



訓練会場の風景



避難所開設訓練



車両救出・道路啓開訓練



要救助者救出・救助活動



防災関係機関による救助活動